

## 1-⑥ 指導体制の充実

### JTE(高学年), HRT(中学年)が行う外国語科・外国語活動の支援体制

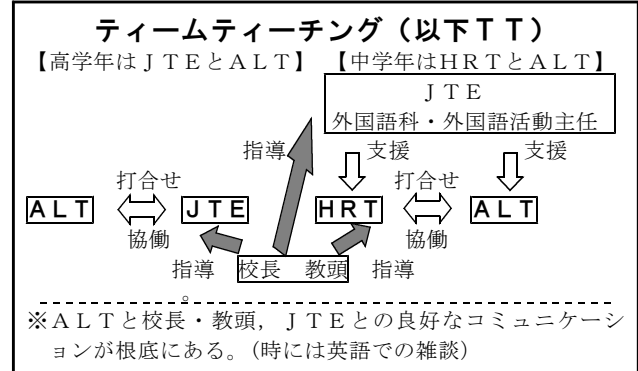
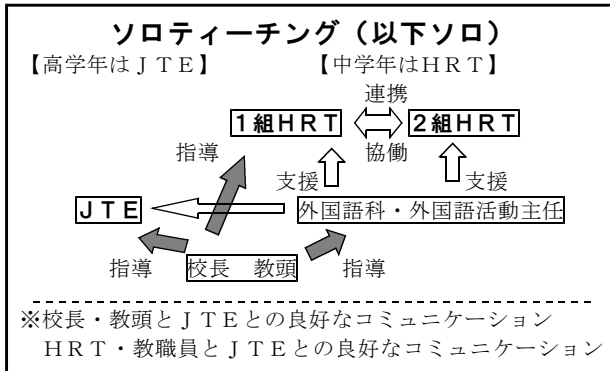
新潟市立曾野木小学校 青木 清美

#### 1 研究の視点に関する実態

【外国語科指導の講師(JTE)への支援 外国語活動指導の学級担任(HRT)への支援】  
 今年度、中学校の英語教員だった方が非常勤講師として赴任した。中学校の英語教員が、JTE(日本人英語教師)として外国語科の指導を行う際、専門性を発揮できる。と同時に、今までとは異なる校種で指導するわけだから、いろいろな点で配慮を要すると考えられる。  
 一方、中学年のHRT(学級担任)4名は、ALTとのTTを15時間程度、ソロでの指導を20時間程度行う。意欲的に指導を行っているが、支援体制を整えていく必要がある。

#### 2 改善のための具体的な方策と取組内容

今年度、当校の高学年外国語科、中学年外国語活動の指導体制は以下の通りである。



JTEは高学年全4クラスの家庭科も担当。HRTと授業や子どもの情報交換を行っている。

#### (1) 高学年外国語科JTEへの支援

##### ① 校長による授業観察と指導・助言 (直接支援・指導)

- (i) 高い専門性を授業で活かすことのお願いと授業参観後の賞賛  
 ・流暢な英語の発話を活かす。(CDやDVDではできない速度調整。必要な部分のみ発話。)  
 ・必要に応じて、英語を板書することで、発話の手助けをする。(ソロでもTTでも)  
 ・TTのALTからは、出身国アメリカの文化(衣食住)も紹介するようにお願いする。  
 (ii) 中学校英語と小学校外国語科との違い、生徒と児童の違いについての指導  
 ・中学校のゴールには高校受験がある。accuracyを求めざるを得ない。しかし、小学校外国語科のゴール、指導法は同じではない。そのことを意識して指導に当たってほしい。  
 ・高学年児童であっても、活動の意欲喚起、具体的で分かりやすい指示をお願いする。

##### ② 外国語科・外国語活動主任へのお願い (間接支援)

- ・放課後に時間があるときは、授業やALTのこと、その他のことでJTEに声掛けする。
- ・新潟市教育委員会の外国語科・外国語活動の研修があったら、JTEに個別に伝達する。

#### (2) 中学年外国語活動4人のHRTへの支援

##### ① 外国語科・外国語活動主任による教材整備と研修の実施 (HRTが指導しやすいよう)

- (i) 3月中にデジタル教材を中・高学年HRTのPCにダウンロード済 指導計画作成済  
 (ii) 昨年度の研修(各種のアクティビティ) 今年度の夏季休業中にはsmall talkの研修

##### ① 学年(学年部)協働体制の推進 →学校経営で重視(得意な分野を活かす・連携を図る)

- (i) ソロに必要な教材の選定・準備を行うHRT(教材・プリントは隣のクラスでも使用)  
 (ii) ALTとのTTの打合せを中心に行うHRT(1組・2組, 基本は同じ流れで)

##### ② 校長による授業参観と指導・助言 (直接支援・指導)

- ・積極的にソロでの授業を行う姿勢や授業を賞賛
- ・ALTには英語の発話だけでなく、アメリカの文化(衣食住)も紹介してもらう。

##### ③ JTE・ALTによる支援 (間接支援・指導)

- ・HRTがALTとの打合せで、うまく伝わっていない場合、JTEが協力する。
- ・ALTの指導法や発話で、参考になることを、HRTが大いに活用する。取り入れる。

#### 3 取組の成果と残された課題

- (1) JTEは試行錯誤しながらも意欲的に、外国語科の授業を行っている。今後は、学習課題とまとめ、振り返りを意識した授業づくりを進めるように指導を行う。  
 (2) 中学年のHRTは、意欲的に「Let's Try!」の指導を進めている。今後も、有効だと思う教材やアクティビティを取り入れ、児童の意欲を喚起することが求められる。